

いわきおてんとSUN企業組合では、今、「おてんとファミリー」を募集しています。いわゆるファンクラブのようなもので、「おてんとファミリー」になっていただいた方々に当組合の取り組みを知ってもらい、応援してもらうための仕組みです。

いわき市、福島県に関心を持たれている方はたくさんいらっしゃると思いますが、「どのようにかわつたらいいかわからない」という声が当組合にも多く寄せられています。「おてんとファミリー」になることで、いわき市や福島県にかかわるきっかけとなるようにしていければ、と考えています。

東日本大震災以降、当社が取り組んでいる生態系を大事

いわきおてんとSUN企業組合
松本幸子さん



かわり方「家族」に提案

にした農業や環境負荷の低い再生可能エネルギー、伝統的なものづくりなどへの社会的関心は高まっていると思います。しかし、それを日常の慌

ただしさの中で意識したり、生活を変えていったりしていくことは非常に難しいことなのではないかと思えます。

私も都会で十年近く暮らしましたが、生活を変えることはできませんでした。「どうにかしたいな」「やってみないな」と思いつつも、何もできない。それが多くの方の現状ではないかと思えます。

待します。他にも、会報にファミリーの皆さまのお声を載せたり、イベントの内容のリンクエストなども受け付けていきます。相互に交流してこそ、「家族」ではないかと思うからです。

いわきおてんとSUN企業組合だから伝えられる、普段の生活では忘れがちなことを、応援して下さる皆さまにお届けします。まずはできることから、生活に取り入れる提案をしていきたいと思えます。

東北復興日記

151



ファミリーの皆さまには季節ごとに会報をお送りし、当組合のその時の取り組みや変化をお知らせしていきます。また、季節を感じ、楽しむためのイベントをいわき市の事務所写真で企画し、ご招

この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。